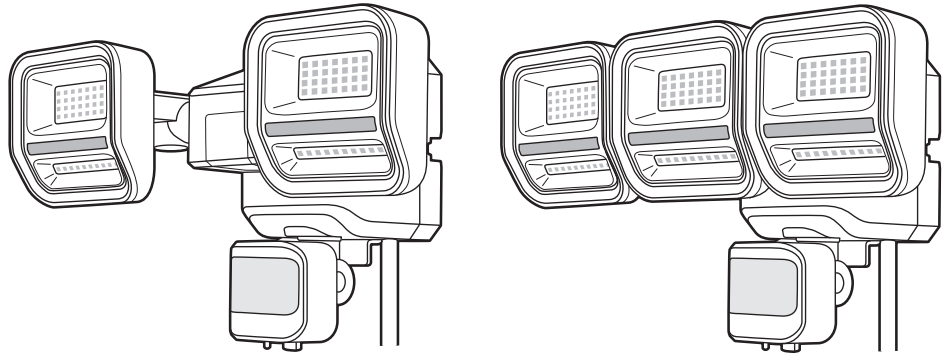


二面発光 コンセント式 センサーライト

品番

ESL-SS2002AC

ESL-SS2003AC



取扱説明書

保証書付

お客様へのお願い

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

本品は強盗、盗難、空巢などの被害を未然に防ぐことを保証するものではありません。
万一、被害などが発生しましても当社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

1 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示します。	⚠ 注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を表示します。
-------------	---	-------------	---

⚠ 警告

- 点灯中や消灯直後は器具に触らないでください。ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。また、人が容易に手を触れる事が出来る2m以下の場所には設置しないでください。
- 燃えやすい物や引火しやすい物の近くには設置しないでください。昼でも本体に布団や洗濯物等がかぶさると点灯し引火する恐れがありますのでご注意ください。
- 布や紙など燃えやすいものをかぶせないでください。火災の原因となります。
- 交流100V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因となります。
- 視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。
- 電源コードを本体等に巻きつけたり、コードを束ねたまま使用しないでください。【火災・感電の原因】
- 電源コードの上に物を載せたり、ステップを打ち込まないでください。【ショート・感電・火災・故障の原因】
- 電源コードが傷んだまま使用しないでください。芯線が露出・断線したまま使用すると火災の恐れがあります。
- 完全防水ではありませんので、水中で使用しないでください。
※防雨構造はIP45電気機械器具の保護等級に適合します。
- 正面から見て本体が地面に対して斜めになったり、逆さまになるような取り付けをしないでください。検知機能に異常をきたすうえ、浸水による故障や漏電の原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
- 取り付けはこの取扱説明書に従って確実に行ってください。
- 屋外で使用される場合、コンセントは防雨型をご使用ください。コードの延長が必要な場合は、必ず防雨型の延長コードをご使用ください。
- 設置時やお手入れ、点検等の際は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。感電事故の原因となります。
- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ本体を持って行ってください。【断線による火災の原因】
- 定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でホコリを取り除いてください。また、長期間ご使用されない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
- 異常を感じたときは、速やかにコンセントから電源プラグを抜いてください。煙が出たり、変なにおいがしたままの状態で使用すると火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから、販売店もしくは当社にご相談ください。
- 電源プラグの抜き差しは、濡れた手でやらないでください。【火災・感電・故障の原因】
- 分解・改造はしないでください。また、指定用途以外での使用や、指定外の取付部品を使用しないでください。

⚠ 注意

- 温度の高くなるもの(ガス機器やその排気口、エアコン室外機)の近くには取り付けしないでください。
- 本品をベンジンやアルコール、シンナーで拭いたり、殺虫剤を吹きかけないでください。変色、変形、ひび割れの恐れがあるほか、引火、感電の原因となります。
- 不安定な場所に取り付けしないでください。落下などによるけがや火災の原因となります。取り付け後、しっかり固定されているか必ず確認してください。
- 電源は直結できない仕様となっています。(非電源直結式)

2 各部の名称と付属品

本体

ESL-SS2002AC

発光部(白色LED)

警告灯発光部(赤色LED)

発光部(白色LED)

検知センサーレンズ

発光部(白色LED)

警告灯発光部(赤色LED)

発光部(白色LED)

L型金具通し穴
(上下左右4ヶ所)

取付ベース

電源コード
(約3m)

取付ベース

L型金具通し穴
(上下左右4ヶ所)

70mm

取付ネジ穴
(2ヶ所)

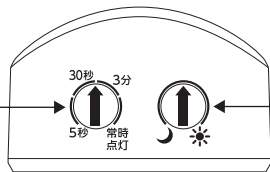
取外しレバー

56mm

※検知センサーレンズを下から見た図

点灯パターン/点灯時間調整ツマミ

センサーモード時の点灯時間5秒、30秒、3分と常時点灯モードを設定、調整できます。



点灯開始照度調整ツマミ

周囲が明るいときにも検知～周囲が暗いときだけ検知させるようにセンサーを調整できます。

※ツマミが固い場合は、ペンチなどではさんで回してください。

ESL-SS2003AC

発光部(白色LED)

警告灯発光部(赤色LED)

発光部(白色LED)

検知センサーレンズ

発光部(白色LED)

警告灯発光部(赤色LED)

L型金具通し穴
(上下左右4ヶ所)

発光部(白色LED)

取付ベース

電源コード
(約3m)

付属品

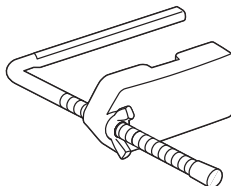
- 取付ネジ(2本)
(φ4×30mm)



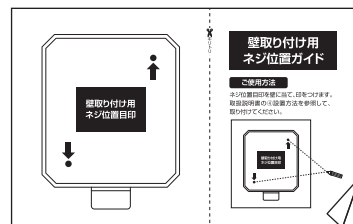
- コンクリート用スリーブ(2本)
(φ6×28mm)



- クランプ
(1セット)



- 取付ガイド(1枚)

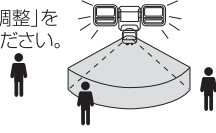


3 まず初めに

本体の設置を行う前に各機能が正しく動作するか動作確認を行ってください。

① 点灯時間調整を「5秒」に、点灯開始照度を「※(昼)」に設定し電源プラグをコンセントに差し込みます。ウォームアップ(初期安定動作)が開始され約10秒間ライトが点灯します。この間ライトは点灯したままになりますので、検知範囲外に離れてお待ちください。

「⑤各種調整」を参照してください。



② 消灯後、検知範囲を横切るように歩きライトが点灯することを確認します。続いて検知範囲外へ移動すると約5秒後にライトが消灯し、赤色警告灯が点灯することを確認します。

③ 点灯時間調整を「30秒」および「3分」に設定し、点灯時間が長くなることを確認します。続いて点灯開始照度を「☾(夜)」に設定し、周囲が明るい場合に点灯しないことを確認します。最後に「常時点灯モード」に設定し、センサーの検知有無・周囲の明るさ・点灯開始照度の設定に関係なくライトが常時白色点灯することを確認します。

<動作確認完了>

正しく動作しない場合は、「⑦故障かなと思ったら」を確認し、処置してください。

ウォームアップ(初期安定動作)について

電源プラグをコンセントに差し込んだときは、点灯開始照度と点灯時間の設定に関わらず、約10秒間ライトが点灯します。これはセンサーが安定するまでの初期動作で、故障ではありません。

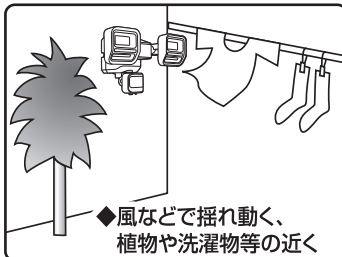
4 設置方法

⚠ 本体の設置を行う前に各機能が正しく動作するか動作確認を行ってください。

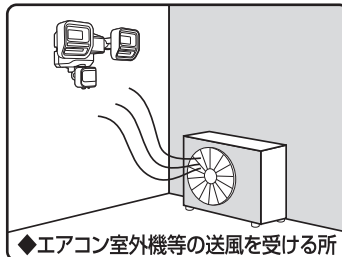
取り付け上のご注意

※センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。

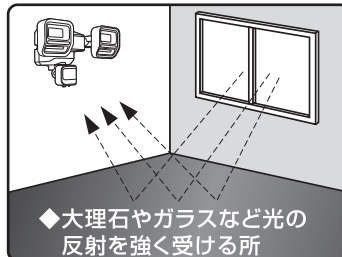
下図のような場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります。




◆風などで揺れ動く、植物や洗濯物等の近く



◆エアコン室外機等の送風を受ける所



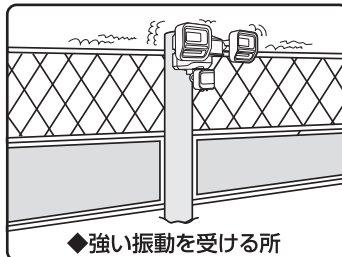
◆大理石やガラスなど光の反射を強く受ける所



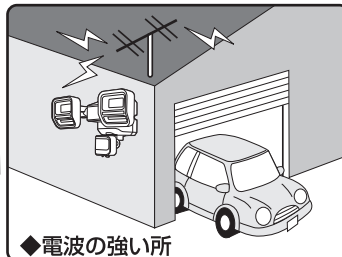
◆ガラスや壁越しの所



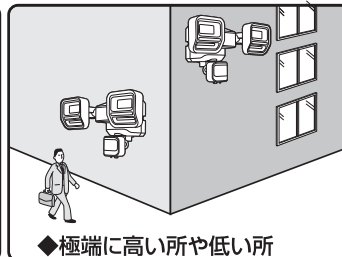
◆街路灯など明かりが近くにある所



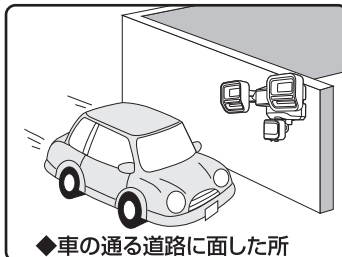
◆強い振動を受ける所



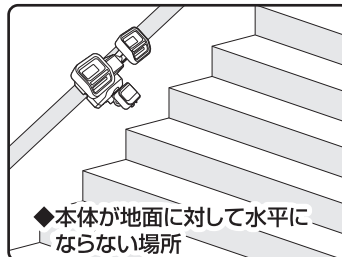
◆電波の強い所



◆極端に高い所や低い所

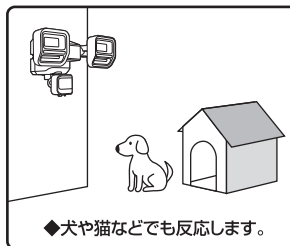


◆車の通る道路に面した所

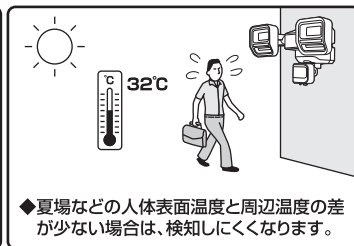


◆本体が地面に対して水平にならない場所

センサーの特性上、以下の点にご注意ください。



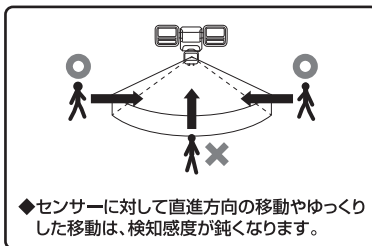
◆犬や猫などでも反応します。



◆夏場などの人体表面温度と周辺温度の差が少ない場合は、検知しにくくなります。



◆冬場などの防寒着着用により肌の露出が少ない場合は、体温を検知しにくくなります。



◆センサーに対して直進方向の移動やゆっくりした移動は、検知感が鈍くなります。

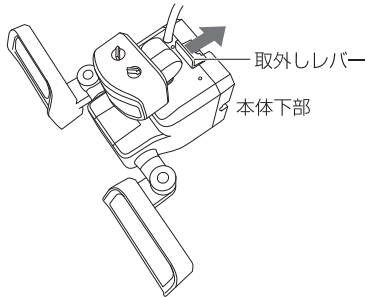
4 設置方法 (つづき)

本体の取付方法

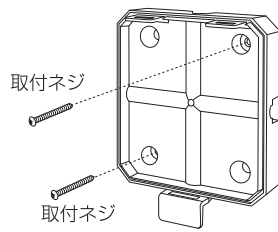
- ⚠️ ・万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
 ・本体の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他損害について当社は一切責任を負いかねます。

ネジでの取り付け

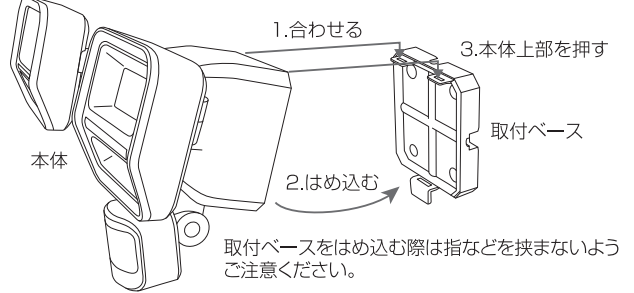
①取付ベースの取外しレバーを矢印の方向に引いて本体から取付ベースを取り外します。



②取付ベースを付属の取付ネジで固定します。

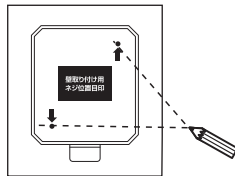


③先に本体上部と取付ベースの上部を合わせてから、カチッと音がするまで下部をはめ込み、本体上部も押し込んで確実に本体を取付ベースに取り付けてください。

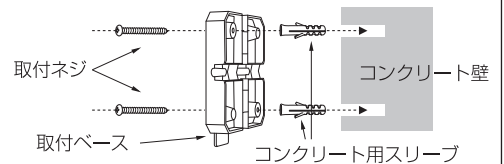


コンクリート壁への取り付け

付属の取付ガイドを使い取付ベースのネジ位置を決めて目印をつけます。



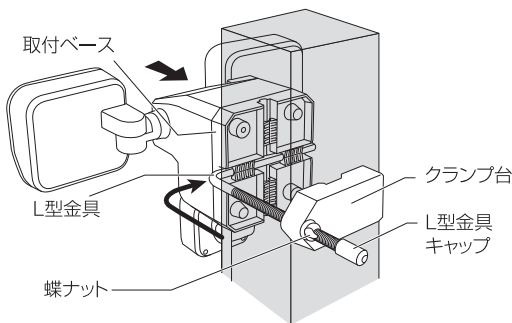
あらかじめドリルで直径6mm、深さ28mmの穴を開け、そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込んでから、付属の取付ネジで取付ベースを固定してください。



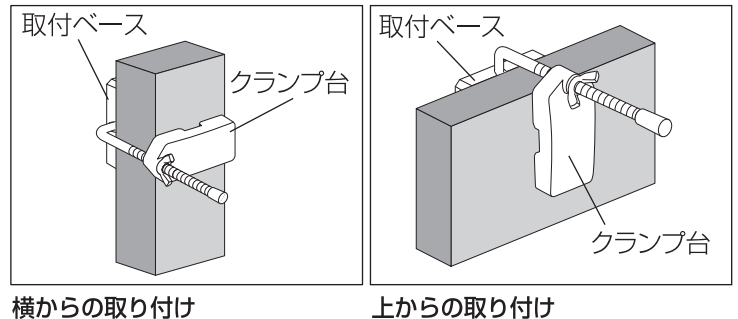
クランプでの取り付け

最小約10mmから最大約100mm幅まで取り付け可能

- ①取付ベースのL型金具通し穴にL型金具を差し込みます。
- ②L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
- ③L型金具の余った部分に付属のL型金具キャップをかぶせてください。



クランプによる取り付け例

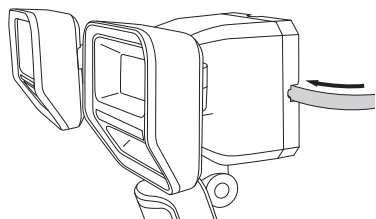


別売ステンレスバンドによる取り付け (弊型番ESL-SB)

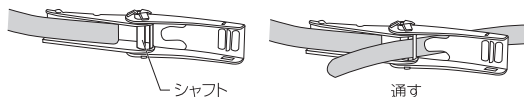
- ⚠️ ステンレスバンドの構造上、一度締め付けるとゆるめることはできません。
 ※ケガをする恐れがありますので作業用手袋を必ず着用してください。

(直径約260mmまで取り付け可能)

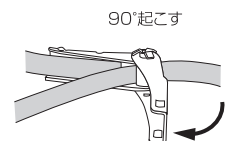
①取付ベースのL型金具通し穴(上下または左右の2ヶ所)にステンレスバンドを通します。



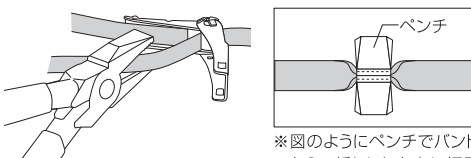
②バンドを取付箇所(ボールなど)に巻き付け、先端をシャフトの間(シャフトは2枚構成)に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。



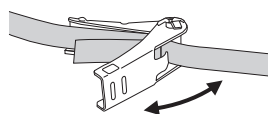
③ハンドルを90度起こして仮止めます。



④仮止めができたなら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。バンド先端は外に出ません。



⑤ハンドルを反復回転させます。(ラチェット機構なのでバンドを巻き取る) ※締めすぎると⑥の工程でハンドルが倒せなくなりますので、ご注意ください。



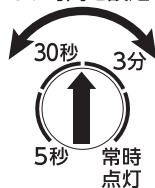
⑥ハンドルをベースに重なるまで倒して、ストッパーにかしめ込んで完了です。



5 各種調整

点灯保持時間の設定

センサーが検知しなくなってから消灯するまでの時間を設定できます。



【センサーモード(5秒/30秒/3分)】

点灯時間を約5秒、30秒、3分より選択できます。

※センサーの検知範囲内で人や動物が動き続けると、センサーが再検知し、点灯時間は延長されます。

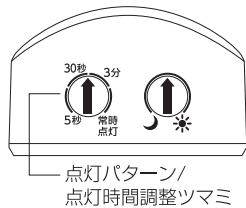
※出荷時は約5秒に設定されています。

【常時点灯モード】

ライトが常時白色点灯します。(赤色警告灯は点灯しません。)

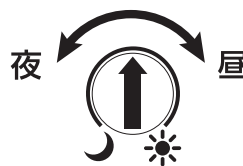
※詳細は「6 点灯パターン」の設定をご確認ください。

検知センサーレンズ下部



点灯開始照度の設定

センサーが検知を開始する明るさを設定できます。



【夜】周囲が暗くなると赤色警告灯が点灯し、センサーが検知するとライトが白色点灯します。※昼間などの明るい時間は点灯しません。

【昼】周囲の明るさに関係なく赤色警告灯が点灯し、センサーが検知するとライトが白色点灯します。

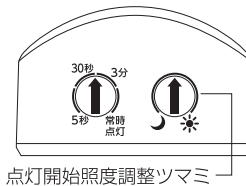
※ツマミを夜と昼の中間に設定すると夕方の薄暗い明るさで点灯します。(細かい設定はできません。)

※出荷時は【昼】に設定されています。

※センサーモード時のみ設定可能です。(常時点灯モード時は設定不可)

※詳細は「6 点灯パターン」の設定をご確認ください。

検知センサーレンズ下部



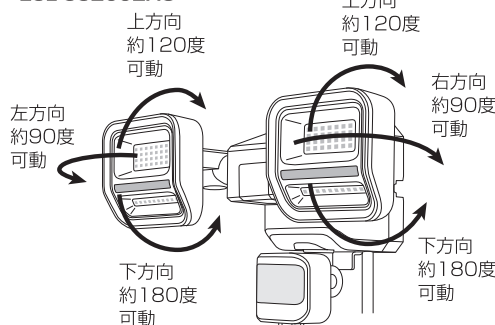
照射方向の調整

ライト部と本体を持って照射角度を調整してください。

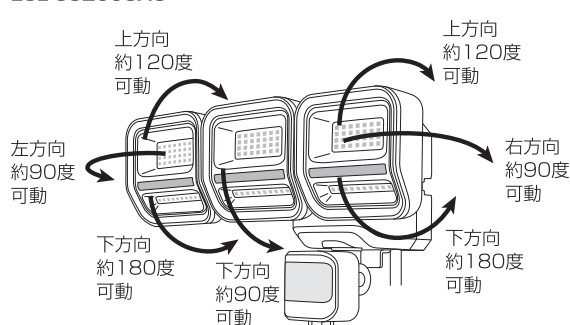
※故障の原因となりますので右記の角度以上回さないください。

※各ライト部は単独で右記角度内で可動します。

ESL-SS2002AC



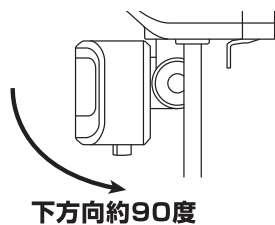
ESL-SS2003AC



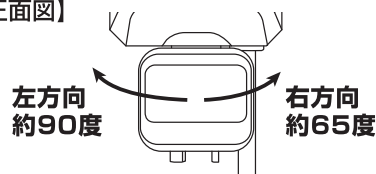
センサーレンズの検知方向の調節

※故障の原因となりますので右記の角度以上回さないください。

【側面図】



【正面図】



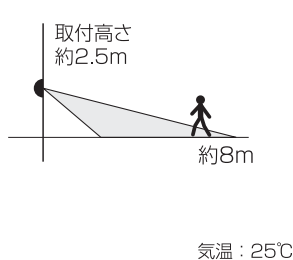
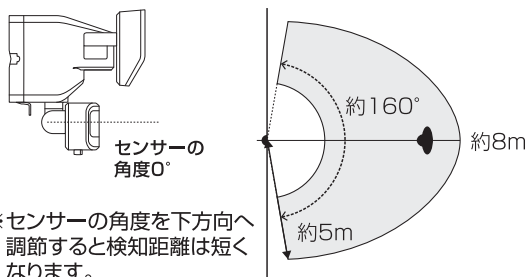
※レンズを下方方向に調節すると、左方向の可動域は約160度になります。

検知範囲について

検知範囲は目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、設置場所などにより大きく変化します。

【平面図】 検知範囲を上から見た図

【側面図】 検知範囲を横から見た図



※センサーの角度を下方方向へ調節すると検知距離は短くなります。

※本体直下は検知できない場合があります。

※ビニールテープ(別売)を利用して検知範囲を狭めることができます。

※検知範囲は、周囲の気温、明るさ、人の体温、服装、移動速度、設置する高さにより大きく変化します。特に夏場など人の体温と周囲の気温の差が少ない場合、冬場など人の肌の露出が少ない場合(防寒具など)は検知しにくくなります。

※人以外で熱源となるもの(動物、空調機の風、暖房機の温風など)も検知します。特に強い熱源は検知範囲外でも検知することがあります。

※人がいても動かない場合や、移動速度が極端に速い場合、または遅い場合は検知しないことがあります。

※センサーに対して直進方向の移動は検知しにくくなります。

※以下のような場所に設置すると誤作動の原因となりますので設置場所を変更してください。

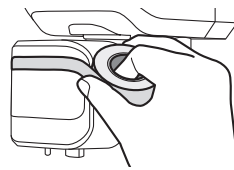
- ・風などでゆれる植物やカーテン等の近く
- ・エアコン等の送風を受ける所
- ・光の反射を受ける所
- ・ガラスや壁越しの所
- ・強い振動を受ける所
- ・取付高さが約2.5m以上の所
- ・車の通る道路や人通りの多い所
- ・電波の強い所

5 各種調整 (つづき)

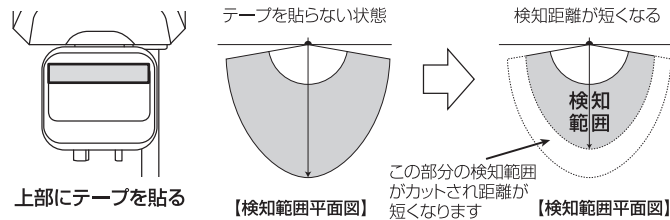
検知範囲の調整

検知センサーレンズに、透明または白色のビニールテープ(別売)を貼ることで、検知範囲を狭くすることができます。

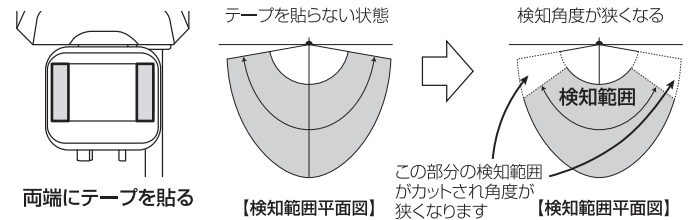
※検知センサーレンズ内の中央に明暗センサーが内蔵されていますので、検知センサーレンズ中央に色の濃いテープを貼ると、夕方や昼間でも点灯を開始する場合があります。



<例1> 検知距離を短くする



<例2> 検知角度を狭くする



6 点灯パターンの設定

センサーモード(5秒/30秒/3分)

設定した点灯開始照度(☀(昼)/☾(夜))で赤色警告灯が点灯します。

人が近づくと赤色警告灯が消灯し、設定した点灯保持時間でライトが白色点灯します。

点灯保持時間	点灯開始照度	点灯パターン		
5秒・30秒・3分に設定 5秒 常時点灯	「☀(昼)」側に設定 	 人がいない時は赤色警告灯が点灯	 人が近づくと赤色警告灯が消灯 設定した点灯保持時間でライトが白色点灯	
5秒・30秒・3分に設定 5秒 常時点灯	「☾(夜)」側に設定 	 周囲が明るい時は消灯	 暗くなると赤色警告灯が点灯	 人が近づくと赤色警告灯が消灯 設定した点灯保持時間でライトが白色点灯

常時点灯モード

センサーの検知有無や周囲の明るさに関係なくライトが常時白色点灯します。(赤色警告灯は点灯しません。)

※点灯開始照度の設定はできません。

点灯保持時間	点灯開始照度	点灯パターン	
常時点灯に設定 5秒 常時点灯	設定に関係なく点灯	 センサーの検知有無・周囲の明るさに関係なくライトが常時白色点灯 (赤色警告灯は点灯しません。)	

※常時点灯モードからセンサーモードに設定を切り替えない限り点灯し続けます。ご注意ください。

※常時点灯モードからセンサーモードに設定が切り替わると、ライトが2回点滅します。

7 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない (センサーが反応しない)	電源が正しく供給されていない。	電源コードの接続およびコンセントの電源供給(ブレーカー)の確認。
	センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。	センサーの検知範囲に対して、検知対象(人など)が横切るような場所へ取り付ける。または検知センサーレンズの方向を調整する。
	周囲が明るい。 (夜でも周囲に他の照明器具がある)	点灯開始照度を「☀(昼)」側に調整する。 他の照明器具の明かりが届かない場所へ取付場所を変更する。
	寒いときや雨降りの時で、人がマフラーや傘などで覆われている。	取付場所や検知範囲等を調整する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなることがあります。
	夏場など周囲の温度と人体の温度差が少ない。	
	非常にゆっくりとした速度で検知範囲に侵入している。	検知範囲の調整、もしくは取付場所を変更する。また、ビニールテープで検知範囲を調整する際は、ズレや外れがないか取付状況を確認する。
	検知範囲が遮られている。 ※ガラスや壁、塀越しには人の動きを検知できません。	本体は約2.5mの高さに垂直に設置してください。
	本体が正しく設置されていない。 ・高い位置に設置している ・低い位置に設置している ・傾けて設置している	
検知範囲を調整するビニールテープが付いていませんか。	ビニールテープを外してください。	
検知センサーレンズが汚れていたり、雨などの水滴が付いたりしていませんか。	水にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。	
ライトが点灯したまま消えない (センサーが反応し続ける)	電源投入直後のウォームアップ時間中。 ※回路を安定動作させるため、電源投入直後はライトが約10秒間点灯したままになります。	ウォームアップ時間が終了するまで、検知範囲の外に出て待機してください。
	何らかの物体がセンサーに反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている。	完全に検知範囲の外に出る。 検知範囲をビニールテープで狭い範囲に調整する。 検知センサーレンズの方向を調整する。または取付場所を変更する。
	点灯保持時間が「3分」または「常時点灯モード」に設定されている。	点灯保持時間を「5秒」側に調整する。
人がいないのに点灯する	検知範囲内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある。 (例) 風で揺れるもの(植木、洗濯物、旗など)、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン室外機、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ	誤動作要因となっているものを検知範囲内から取り除く。 検知範囲をビニールテープで狭い範囲に調整する。
	検知範囲が道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している。	検知センサーレンズの方向を調整する。または取付場所を変更する。
	風や車両の通行等により、本体を取り付けている柱などが振動している。	振動の影響を受けない場所に取付場所を変更する。
	「常時点灯モード」になっている。	点灯保持時間を「5秒」側に調整する。
昼間なのにライトが点灯する	点灯開始照度の調整ツマミが「☀(昼)」になっている。	点灯開始照度の設定を「☾(夜)」側に調整する。
ライトが点滅する (点いたり消えたりを繰り返す)	本体の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除く。
	点灯パターンの切り替えを行った。	点灯パターン切り替え時は、切り替わったことをお知らせするため一時的にライトが点滅します。
ライトが点いてもすぐ消える	点灯保持時間が「5秒」に設定されている。	点灯保持時間を「3分」側に調整する。
	本体の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除く。

仕様

■ 本体

品番	ESL-SS2002AC	ESL-SS2003AC
検知方式	赤外線受動式	
電源電圧	AC100V 50/60Hz	
消費電力	約15W(待機時 約0.5W)	約21W(待機時 約0.5W)
光源	白色LED	
全光束	約1500lm	約2200lm
点灯保持時間	約5秒/30秒/3分間 ※点灯中に人を検知すると点灯し続けます。	
点灯開始照度	約10lx(夜)~(昼)	
保護等級	IP45 (防噴流形)	
使用周囲温度範囲	-10℃~+40℃	
電源コード長	約3m	
質量	約883g(電源コード含む)	約1012g(電源コード含む)
付属品	取付ネジ 2本(Φ4×30mm)、コンクリート用スリーブ 2本(Φ6×28mm)、クランプ 1セット、取付ガイド 1枚	

※LEDの交換はできません。

※商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますので、ご了承ください。

※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。それ以外の責はご容赦ください。

外形寸法図

